



横浜市立恩田小学校 学校だより 1月号

発行 令和3年1月7日

恩田小学校
HP⇒



一歩一歩確実に

校長 古屋 澄人

あけましておめでとうございます。今年の横浜の元日は天候に恵まれ、私がよく出向く近所の初日の出スポットから初日の出を拝むことができ、同時に西の空には満月から少し欠け始めた月も見ることができました。

昨年末にお願いしました「家庭と学校とのオンラインでの接続確認」にご協力いただきありがとうございました。今回の接続確認は文部科学省が実現を目指している「GIGA スクール構想」によるものです。当初は令和5年までに子どもたちに一人一台の端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する構想でしたが、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICT（情報通信技術）の活用により全ての子どもたちに学びを保障できる環境を早急を実現することとなりました。「GIGA（Global and Innovation Gateway for All）スクール構想」とは「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する」ことを目指しています。（文部科学省 GIGA スクール構想の実現より）

具体的には一人一台の端末とネット環境の整備、横浜市としては「ロイロノート・スクール」の導入を進めており、日ごろの授業の中での活用を目指しています。これにより「学びの深化」と「学びの転換」が期待できます。教師は子どもたちの一人一人の考えを把握でき双方向型の一斉授業が可能になります。また、子どもたちは、お互いの考えや情報をリアルタイムで共有したり意見交換したりすることができるようになります。

ICT 機器は、各教科の特性に合わせた活用により子どもの学びの可能性をますます広げることができます。文章の校正、プレゼンテーション、プログラミング、動画を使って観察・実験の現象の分析等。我々大人がタブレットやスマートフォンを手元において活用しているように、教師が指示して使うのではなく、子ども自身が目的に応じて教科書や資料集、そしてノートなどの文房具のように ICT を活用する学習がすぐそこに来ていると感じます。恩田小学校としても子どもの「学びの最適化」に向けて準備を進めていきます。

今年は丑年。牛のごとくどっしり構えて、安全・安心を第一優先とし「これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現できる」生きる力の育成を一歩一歩確実に進めていきたいと思えます。

本年も本校の教育活動にご協力よろしく願いいたします。